

広東・香港・マカオビッグベイエリア構想(2)

～ 枠組み協定の主な内容～

2017年7月1日、中国政府(国家発展改革委員会)及び香港、マカオ、広東省の各政府が『広東・香港・マカオ協力深化によるビッグベイエリア建設推進枠組み協定』(以下、枠組み協定)¹を締結し、「広東・香港・マカオビッグベイエリア(中国語:粵港澳大湾区、以下ビッグベイエリア)構想が国家戦略として動き始めました。ビッグベイエリア構想は、広東省(粵)及び香港(港)、マカオ(澳)の経済協力強化を通じて一大経済圏形成を目指すもので、香港にとっては、中国本土の長期的な発展計画に初めて組み入れられたことになります。同時に、国家戦略であるビッグベイエリア構想の実現に向けて香港の強みを活用できるチャンスになるとの期待が寄せられ、「一帯一路」構想とともに注目を集めているテーマです。本レポートでは、ビッグベイエリア構想について複数回にわたって連載しています。第2回目となる本稿では、枠組み協定の主な内容を纏めます。

目的、目標 ～世界レベルの都市群形成へ～

枠組み協定では、ビッグベイエリア構築の目的や目標、重点分野等の大枠が示されています。うち、最終的な目標としては、「世界で一流のベイエリア、世界レベルの都市群の形成」が挙げられ、この目標を実現させるべく広東省、香港、マカオの各地の目標が下表1のように定められています。各地の目標は、それぞれ既存の強みを踏まえた内容で、広東省は科学技術や先端製造業、現代サービス業、香港は金融、貿易、専門サービス、マカオは観光・レジャーといった分野を中心に発展を促進。各地が相互補完関係を築き、エリア全体の競争力底上げを目指します。

表1: 目的及び目標

目的		「一国二制度」の確実な実行
		協力メカニズムの向上・刷新
		相互補完的な協力関係の構築
		ビッグベイエリアの共同開発推進
協力目標	広東省	科学技術、産業イノベーションセンター・先端製造業、現代サービス業基地の構築
		国際金融センター、海運・空運、貿易の三大センターとしての地位強化・向上
	香港	世界のオフショア人民元取業務ハブの地位、国際資産管理センターとしての役割強化
		専門サービス及びイノベーション・科学技術事業発展の推進
		アジア太平洋地域の国際紛争解決サービスセンター建設
	マカオ	世界観光・レジャーセンター推進
中国・ポルトガル間の商業貿易協力サービスプラットフォームを整備し、マカオ経済の適度な多元化、持続可能な発展促進		

出所: 『広東・香港・マカオ協力深化によるビッグベイエリア建設推進枠組み協定』に基づき作成

¹ 原文: https://www.gce.gov.mo/bayarea/files/BayAreaAgreement_cn.pdf

協力重点分野 ～「一帯一路」構想参画も～

協力重点分野をみると、インフラ連結や市場一体化の推進といった既に連携を進めている分野のほか、目新しい分野としては「国際協力における新たな優位性の育成」が挙げられます(表 2)。具体的には、「香港、マカオの優位性を活用し、『一帯一路』沿線国との協力を深める」、「広東、香港、マカオと共同による生産能力・設備のグローバル提携や中国企業の対外進出の展開を支援する」といった内容で、いずれも「一帯一路」構想に関わるものです。

「一帯一路」構想におけるビッグベイエリアの役割については、2015年に中国政府が発表した「一帯一路」構想の基本方針である『シルクロード経済ベルトと21世紀の海上シルクロード共同建設促進のビジョンとアクション』の中で既に言及されており、「『一帯一路』建設推進にあたり、国内各地域の優位性を十分に発揮させる」との前提の下、沿海部及び香港、マカオ地域に関して「深セン前海、広州南沙、珠海横琴等の開放協力エリアの役割を十分に発揮させ、香港やマカオとの協力を深め、広東・香港・マカオビッグベイエリアを形成する」との方針が示されています。

香港と広東省との経済協力関係は、生産拠点を広東省、金融や貿易サービス等のその他オペレーションを香港が担うという分業体制の時代から、互いに一体となって中国の対外開放における重要な戦略的役割を担う時代に移ったといわれているのは、前回の本レポートで言及した通りです。今後は広東、香港、マカオがそれぞれの得意分野を活かしつつ手を組んで、中国の外交・対外経済戦略である「一帯一路」構想への参画が進むことが想定されます。

表 2: 協力重点分野

インフラによる相互連結の推進	中国本土と香港、マカオ間の交通網連結強化
	エネルギーや水供給システムの安定化
	情報通信ネットワークインフラ水準の引き上げ
市場一体化の推進	CEPA(本土と香港間の経済貿易緊密化協定)等を通じた中国本土と香港、マカオ間のヒト・モノ・カネの往来促進
国際科技イノベーションセンターの構築	世界の科技イノベーション資源を統合、利用し、イノベーション協力体制・メカニズムを整備
	イノベーションを牽引役とする経済体系、発展モデルを形成
現代産業システムの構築	ビッグベイエリアの各都市の産業の優位性を十分に発揮し、産業構造を改善し、グローバル・バリュー・チェーンにおいてハイエンド化に邁進
質の高い生活圏の建設	公共サービス水準の引き上げ
	雇用・創業サービス体系の改善
国際協力における新たな優位性の育成	香港、マカオ地域の独自の優位性を十分に発揮し、“一帯一路”沿線国とのインフラ、経済・貿易、金融、環境保護、人文交流等の分野で協力を深める
	広東、香港、マカオとの共同による生産能力・設備のグローバル提携や中国企業の対外進出を支援

出所：『広東・香港・マカオ協力深化によるビッグベイエリア建設推進枠組み協定』に基づき作成

* * *

前述の通り、枠組み協定は、ビッグベイエリア構想の大きな方向性を示したにすぎず、現在は『広東・香港・マカオビッグベイエリア都市群発展計画』の発表が待たれる段階です。中国メディアによると、「当該計画は、既に国家発展改革委員会に提出された」と伝えられ、引き続き関連動向が注目されます。

(執筆:株式会社三井住友銀行 コーポレート・アドバイザー本部 香港グループ)

本誌内容に関するご照会は、お取引店までご照会ください。